

© ACG プレスリリース - 展覧会開催のご案内 -



OAP彫刻の小径2024-25

ライン — 抽象彫刻を走らせるもの

Lines – Running Through Abstract Sculpture

出展作家：内田晴之 / 岡本敦生 / 佐藤忠 / 戸田裕介

Artists: Haruyuki Uchida / Atsuo Okamoto / Chu Sato / Yusuke Toda



[出展作品・左より] 内田晴之《Thinking Red》2024年 | 岡本敦生《星で息をする》2024年 | 佐藤忠《内なる雨》2024年 | 戸田裕介《塔／風と水のはなし》2024年 | 撮影: 来田猛

具象彫刻であれば、モデルとなる人体が彫刻のかたちを決める枠組みとなる。では、抽象彫刻の場合、かたちを決定する基準は何になるのだろうか。たしかに、モデルとして幾何学図形を用いるタイプもあるが、もうひとつ、枠組みをもたずに外部に延長してゆくタイプがある。そこで基準となるのはライン（線）であり、こうした彫刻はラインの働きによって展開する。前者では内側と外側が輪郭線によって区分されるが、後者ではラインが成長した軌跡がかたちとなる。具象彫刻（人体像）は生命感の表現を求めたが、ラインによる抽象彫刻は別の方法でそれを実現するのである。

本展の出品作品のタイトルからもわかるように、こうしたラインの展開は、結果として、屋外環境のさまざまな要素と結びつく。輪郭線＝境界線による彫刻ではそうした要素と対比的な関係が築かれるが、ラインの彫刻はそうした要素と一体化するのである。

ゲストキュレーター：藤井匡

■OAP彫刻の小径について

OAP彫刻の小径は、天神祭でも知られる大川を臨む水辺のプロムナード沿いに位置します。一年半毎にテーマを設けて展示替えを行い、親しみやすくをモットーに国内外で活躍する気鋭作家の作品を紹介する野外彫刻展を開催しています。

【展覧会概要】 展覧会タイトル：OAP彫刻の小径2024-25

ライン — 抽象彫刻を走らせるもの OAP Sculpture Path 2024-25: *Lines – Running Through Abstract Sculpture*

会 期：2024年 5月 – 2025年 10月

会 場：OAP彫刻の小径（OAP公開緑地内、大川沿いのプロムナード／アートコートギャラリーより徒歩1分）

出展作家：内田晴之／岡本敦生／佐藤忠／戸田裕介

企 画：藤井匡（東京造形大学教授）

主催：アートコートギャラリー（株式会社八木アートマネジメント） 協賛：三菱地所株式会社、三菱マテリアル株式会社、三菱地所プロパティマネジメント株式会社

【お問い合わせ】アートコートギャラリー [担当：八木・灰田] ※ビジュアル資料ご希望の方は、お気軽にお問い合わせ下さい。

〒530-0042 大阪市北区天満橋1-8-5 OAPアートコート1F TEL:06-6354-5444 FAX:06-6354-5449 E-mail:info@artcourtgallery.com www.artcourtgallery.com

内田晴之

Haruyuki Uchida

1952 静岡県生まれ
1976 京都精華短期大学立体造形専攻科修了

| 主な展覧会 |

2016 「瀬戸内国際芸術祭」宇野港、岡山 ['13 高見島、岡山]
2015 「Sculpture by the Sea」オーストラリア ['09 デンマーク、'08 パース、'06 シドニー]
2012 「越後妻有アートトリエンナーレ」新潟 ['09]
2003 個展「内田晴之展—新作立体・平面—」アートコートギャラリー、大阪
1997 「第17回現代日本彫刻展」宇部市常盤公園、山口 ['93、'87]
1994 「International Symposium of the Openair Sculpture in Pusan'94」
釜山オリンピック記念公園、韓国
1992 「語りだす鉄たち—今日の金属彫刻から」東京都美術館
1989 「横浜彫刻展—ヨコハマビエンナーレ '89」横浜美術館前グランモール公園
1985 「第4回ヘンリー・ムーア大賞展」美ヶ原高原美術館 ['81 箱根彫刻の森美術館]
1979 「アート・ナウ '79」兵庫県立近代美術館

| 主な受賞 |

1998 第29回中原悌二郎賞〈優秀賞〉
1997 第17回現代日本彫刻展〈大賞〉
1987 第5回京都府文化賞

| 主なパブリックコレクション |

秋田県立近代美術館 / 旭川市彫刻美術館 / 芦屋市立美術博物館 / 宇部市野外彫刻美術館 /
神奈川県立近代美術館 / 京都国立近代美術館 / 静岡県立美術館 / 東京都現代美術館 /
箱根彫刻の森美術館 / 広島市現代美術館 / 兵庫県立近代美術館 / 横浜市ヨコハマ
アリーナ / 韓国国立現代美術館 / 釜山市オリンピック公園 (韓国) / 台北市立美術館
(台湾) / Holmes a Court Collection (オーストラリア)



《Gravity Circle-Red》2016年 | 3.48 x 8 x 8 m
ステンレススチール、マグネット、塗料
設置場所：Willinga Park、シドニー、オーストラリア



《Four Cubes》2016年
5.1 x 2.85 x 1.36 m
ステンレススチール、塗料
設置場所：キャンベラ空港国際
ターミナル、オーストラリア

岡本敦生

Atsuo Okamoto

1951 広島県生まれ
1977 多摩美術大学大学院彫刻科修了
2009 - 2014 アーティスト インレジデンス (イギリス)

| 主な展覧会 |

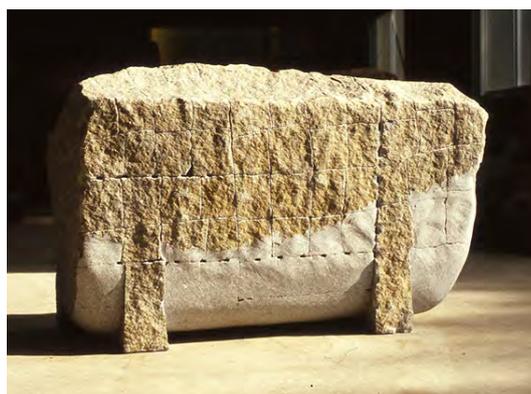
2023 「コラボレーション:岡本敦生+野田裕示」ギャラリー東京ユマニテ、東京 ['20]
2022 個展「穴を彫る - 2022」いりや画廊、東京
「雨引の里と彫刻」茨城 ['19、'15、'13、'11、'08、'06、'03、'01、'99、'97、'95]
2021 個展「CALDERA」ギャラリー東京ユマニテ、東京 ['14、'08]
2017 個展「水を彫る - 2017」伊勢現代美術館、三重 ['03]
「ART SESSION TSUKUBA 磁場 - 地場」茨城 ['15、'11、'09、'07]
2013 「現代美術の磁場」茨城県つくば美術館 ['11、'09、'07、'05、'03、'00、'98、'96、'94]
2011 個展「Forest」Chelsea College of Arts & Design、ロンドン、イギリス
2010 個展「Faraway mountain」Corn Exchange Gallery、エジンバラ、イギリス
2009 「Sidney Nolan Trust Sculpture program 2009」イギリス
「MILE STONE Sculpture International 2009」イギリス
2006 「Sculpture Internazionale ad Aglie 2006 国際美術展」トリノ、イタリア
2005 「第21回現代日本彫刻展」宇部市常盤公園、山口 ['95、'91、'85、'81]
2002 「東日本 - 彫刻」東京ステーションギャラリー〈ステーションギャラリー大賞〉
1998 「インサイド/アウトサイド - 日本現代彫刻の8人」新潟県立近代美術館
「サントリー美術館大賞展 98 挑むかたち」サントリー美術館、東京
1983 「第3回ヘンリー・ムーア大賞展」美ヶ原高原美術館、長野
1981 「第15回現代日本美術展」東京都美術館 / 京都市美術館

| 主な受賞 |

2002 「東日本 - 彫刻」展〈ステーションギャラリー大賞〉
1997 第24回長野市野外彫刻賞
1996 第27回中原悌二郎賞〈優秀賞〉
1994 第12回ヒロシマアートグラウンド〈ヒロシマ国際文化財団美術奨励賞〉
1989 第2回朝倉文夫賞



《息を彫る - 2022》2022年 | 105 x 105 x 125 cm | パザルト



《記憶体積 blue》1990年 | 140 x 60 x 100 cm |
白御影石+内部にフィルムを保存 | 伊勢現代美術館蔵

佐藤 忠

Chu Sato

1966 神奈川県生まれ
1993 東京藝術大学大学院美術研究科鍛金専攻修士課程修了
2006 文化庁新進芸術家国内研修制度研修員
2008 文化庁新進芸術家海外留学制度研修員（ドイツ/ベルリン）

| 主な展覧会 |

2024 個展「見えないもの、つかめないもの」日本橋高島屋美術画廊X、東京 ['19, '16, '11, '07]
「砂の時間」戸嶋靖昌記念館、東京
2022 「彫刻・鉄展」ギャラリー KINGYO、東京
「私たちの絵 時代の自画像」平塚市美術館
2021 「第 47 回美術の祭典東京展・東京展 EYES ～銀座・京橋の画廊・個展検索～」
東京都美術館
2020 個展「赤と螺旋」ギャラリーなつか/Cross View Arts、東京 ['00, '01, '03, '06, '10]
2017 「ART SESSION TSUKUBA 2017 磁場 - 地場」茨城
2016 「Indepth - こよなくあいまいな風景 - 佐藤忠 x 古門圭一郎展」
Bunkamura Box Gallery、東京
2015 個展「鉄 / 錆 / 残像」川崎市立美術館 タッチアートコーナー
個展「Jewelry」ギャラリーせいほう、東京
2010 「彫刻家からの贈り物」ギャラリーエクリュの森、埼玉 ['08 静岡]
2008 「空と風と水と」OAP 彫刻の小径 / アートコートギャラリー、大阪

| 主な受賞 |

2003 第 39 回神奈川県美術展〈準大賞〉

| パブリック・コレクション / 作品設置 |

ポーラ美術館、神奈川
執行草舟コレクション / 戸嶋靖昌記念館、東京
TODA BUILDING 心齋橋 エントランス外壁、大阪
東急ハーヴェストクラブ熱海伊豆山 & VIALA、静岡

戸田裕介

Yusuke Toda

1962 広島市生まれ
1990 武蔵野美術大学大学院 造形研究科美術専攻彫刻コース修了
1995-96 日航財団海外派遣芸術家としてフィレンツェおよびロンドンに滞在
1996 英国王立芸術大学院大学 (RCA) PEP 修了
2000 国際交流基金芸術家海外派遣 (ドイツ)

| 主な展覧会 |

2022 「雨引の里と彫刻」茨城県桜川市 ['19, '17, '13, '11, '08, '06 / '03, '01 茨城県大和村]
2019 「第28回UBEビエンナーレ / 現代日本彫刻展」UBEビエンナーレ彫刻の丘、山口 ['15, '01, '91]
2017 個展「青らも天のうつろのなかへーfragile VII」プラザギャラリー、東京 ['09, '06, '01, '99, '97]
2016 「生への言祝ぎーインスタレーション、十二の柱+出会いのパフォーマンス」大分県立美術館
2014 個展「Spec・tactile」川崎市立美術館タッチアート・コーナー+エントランスホール、埼玉
2013 個展「銀の微塵のちらばるそらへ-fragile VI ボトルシップ・ラブソディー 14 の彫刻 / インスタレーションの場をめぐって」TAM + プラザギャラリー、東京
2011 「岡本太郎生誕100年記念展：芸術と科学の婚姻 私たちは何処から来て何処へ行くのか」
川崎市岡本太郎美術館、神奈川
2002 「釜山ビエンナーレ 釜山彫刻プロジェクト」韓国

| 主な受賞 |

2015 第 26 回 UBE ビエンナーレ 〈宇部マテリアルズ賞〉
2001 中国新聞福山制作センター・エントランス彫刻作家指名コンクール〈金賞〉
1999 しまなみ海道 '99 彫刻コンクール〈大賞〉
1998 第 19 回神戸須磨離宮公園現代彫刻展〈優秀賞 / 東京国立近代美術館賞〉
1997 第 3 回大分アジア彫刻展〈大賞〉
1992 第 4 回東京野外現代彫刻展〈東京都知事賞〉
1990 小田原城野外彫刻展〈準大賞〉

| 主なコレクション / 作品設置 |

朝倉文夫記念公園、大分 / さきたま緑道彫刻プロムナード、埼玉 / 緑と花と彫刻の博物館、
山口 / 中国新聞福山制作センタープレッセびんご、広島 / Sculpture Trail Djerassi Art
Foundation、アメリカ / 釜山特別広域市岩南公園、韓国 / LAPIDEA Garenne、ドイツ /
Giro d' Italia 自転車競技連盟、イタリア / ウッタラヤン芸術財団、ITM 大学ヴァードー
ラー校・グワリオール校、インド



《異教の神話》2020 年
ステンレス、NR ゴムスポンジ | 200 x 145 x 90 cm



《Untitled #68, #69, #70》2013 年 | 耐候性鋼板
ポーラ美術館、神奈川



《水土 (すいど) の門 / 天地を巡るもの》 撮影：齋藤さだむ
2013 年 | 5.4 x 2.35 x 2.2 m | 鉄、真鍮、ウレタン塗料、
エポキシ塗料、真鍮箔、金箔 | 雨引の里と彫刻 2013、茨城



《天地を巡るもの / 大気循環 (Trinity)》2022 年
3.5 x 2.8 x 2.7 m | ステンレススティール、花崗岩
設置場所：宇部市立厚東川中学校、山口 撮影：三浦梨絵